

【学校関係者評価委員会】

平成 28 年 8 月 1 日に学校関係者評価委員会を開催しました。本校の自己点検に対する意見を列挙いたします。

①職員について

職員の指導力の差を縮小するためには、研修等を実施して職員の質のレベルアップを図る必要がある。また、他校との情報交換をしてはどうか。

②社会貢献について

社会貢献は大切である。さらに多くのボランティアを実施することで、職業観の養成に努めるべきである。「ありがとう」と言ってもらえる機会（ボランティア）を作ることが大切である。

③就職試験の面接について

- ・民間企業の立場では、就職試験の面接の時に、面接の練習をしっかりと生徒は個性が出ないのでかえって採用しにくい。面接の受け答えの内容で、合格させるわけではない。面接の時ににじみ出るちょっとした言葉や表情から、生徒の本性を判断して採用している。
- ・容姿ではなく、見た目（第一印象）が重視される。日頃の生活態度が表れる。生徒の「素直さ」「人間性」を重視して、合否を決めている。
- ・OBやOGの体験談を聞かせることも大切である。
- ・面接の最後に、面接官が「何か質問はありますか？」と質問した時に、「質問はないうです」と答えると、この生徒は本当に入社したい気持ちがあるのかと疑問に思う。会社や業務についてポイントをおさえた質問をすると、会社を理解していて入社への意欲を感じることができる。
- ・面接の練習の時に、他の生徒の面接官をやらせてみると自分の面接態度が改善されるだろう。

※上記の意見を参考にして、さらに本校をより良くするために努力いたします。